

みずほCustomer Desk Report 2024/04/08 号(As of 2024/04/05)
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	151.03
TKY 9:00AM	151.30	1.0836	163.95	1.2639	0.6588		
SYD-NY High	151.75	1.0851	164.44	1.2648	0.6594		
SYD-NY Low	150.81	1.0792	163.50	1.2575	0.6550		
NY 5:00 PM	151.64	1.0838	164.33	1.2639	0.6578		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	38,904.04	307.06	日本2年債	0.2100%	0.0200%		
NASDAQ	16,248.52	199.44	日本10年債	0.7700%	0.0000%		
S&P	5,204.34	57.13	米国2年債	4.7495%	0.1052%		
日経平均	38,992.08	▲ 781.06	米国5年債	4.3903%	0.0985%		
TOPIX	2,702.62	▲ 29.38	米国10年債	4.3986%	0.0922%		
シカゴ日経先物	39,370.00	210.00	独10年債	2.3985%	0.0405%		
ロンドンFT	7,911.16	▲ 64.73	英10年債	4.0655%	0.0485%		
DAX	18,175.04	▲ 228.09	豪10年債	4.1160%	▲ 0.0540%		
ハンセン指数	16,723.92	▲ 1.18	USDJPY 1M Vol	7.45%	▲ 0.31%		
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.92%	▲ 0.16%		
NY金	2,345.40	36.90	USDJPY 6M Vol	8.23%	▲ 0.09%		
WTI	86.91	0.32	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.39%	Yen Call Over		
CRB指数	297.58	1.24	EURJPY 3M Vol	7.79%	▲ 0.08%		
ドルインデックス	104.30	0.18	EURJPY 6M Vol	8.20%	▲ 0.09%		

東京	東京時間ドル/円は151.30レベルでオープン。前日からの中東情勢緊迫の流れもあり、リスクオフから日本株が軟調に推移。ドル/円も円買いから一時151円割れまで下落。同水準では買い戻しも入り、151円台まで値を戻す展開。その後は151.25レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.25レベルでオープン。午後に米3月雇用統計を控え、方向感なく推移し、結局151.39レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台半ばでスタート。先日の米株安の流れが日本株にも波及した事や、植田日銀総裁が「物価目標達成の確度高まれば追加利上げを検討する」との考えを示した事を受け、円買いが進み、約2週間ぶりに151円を割り込み、150.81まで下落。しかし、その後は米金利が上昇する展開を受け反発し、151.39レベルでNYオープン。朝方に発表された米3月非農業部門雇用者数変化指数は予想を大幅に上回った一方、平均時給(前月比)と失業率は予想と一致した。強めの雇用統計の内容を受け、市場はドル買い反応し、151.75まで上昇。その後は一時失速し、151.50付近まで下落する場面もあったが、ローガン・ダラス連銀総裁の「利下げについて考えるのはあまりに早過ぎる」、ボウマンFRB理事の「利下げの時期にはまだ至っていない」等との発言を受け持ち直し、151.60付近で支えられる。午後は週末を控え、積極的な取引が手控えられ中、151.60付近でほぼ横ばいで推移し、151.64レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロ/ドルは1.08台半ばでスタート。じり安での推移が続き、1.0820付近まで下落するも、その後独金利の上昇に支えられ反発し、1.0835レベルでNYオープン。朝方は予想より強い米雇用統計の内容を受け、ドル買いの流れが重となり、1.0792まで下落。しかし、その後は上昇していった米長期金利が低下する展開を受け、1.0845まで反発する等神経質な値動きとなる。午後は小幅反落し、1.0830付近での推移が続き、1.0838レベルでクローズ。

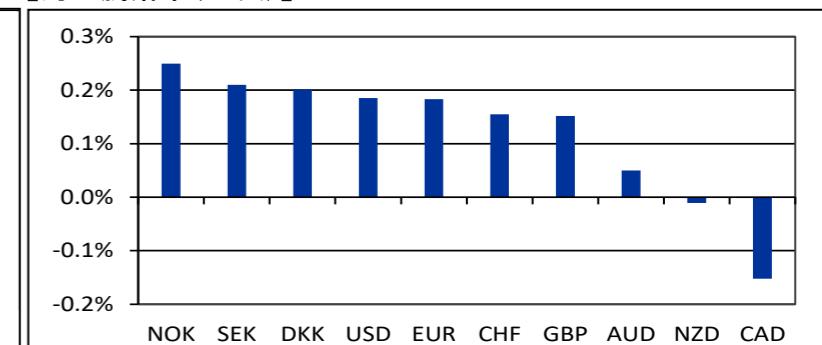
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月5日	18:00	欧 小売売上高(前月比)	2月 -0.5%	-0.4%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 303k	214k
	21:30	米 失業率	3月 3.8%	3.8%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	3月 0.3%/4.1%	0.3%/4.1%
4月6日	00:00	米 ローガン・ダラス連銀総裁 講演	「利下げについて考えるのはあまりに早過ぎる」	
	01:30	米 ボウマンFRB 講演	「利下げの時期にはまだ至っていない」	

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月8日	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 0.5%	1.0%

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-152.30	1.0790-1.0890	163.50-164.80

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円はこじっかりと推移。151.30 レベルでオープンしたドル円は中東情勢緊迫化によるリスクオフムードから日本株が軟調に推移したことから一時151円を割り、この日の安値150.81まで下落。その後値を戻し、151.25レベルで海外へ。海外時間に発表された米3月雇用統計の強い結果を受け、ドル円はこの日の高値151.75まで上昇。その後一時失速も、複数の連銀総裁による「利下げ議論について時期尚早」等の発言から値を戻し、151.64レベルでクローズした。本日のドル円は底堅い推移を予想。金曜日に発表された米3月雇用統計は米国における労働市場の強さを示す結果となったものの、これは移民の大量流入が要因との見方もある。パウエルFRB議長は先月FOMC後の会見において、強い雇用の伸びについて「インフレを懸念する材料にはならない」「利下げを待つ理由にもならない」との見解を示している。このような状況下、今週10日に控える米3月消費者物価指数(CPI)の公表において持続的な物価の減速を確認できるかに注目が集まる。本日のドル円は米国経済の強さが確認されたことを背景に、また、この指標を前に底堅く推移するものとみる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。